事業所通信No.101

NPO法人はちくりうす
住所：東京都鷹番3-14-9
TEL：03-3793-3012
FAX03-5856-6700
E-mail：office@8curious.or.jp
編集担当：島田　宏

音楽力炸裂の10周年記念パーティー

―報告とお礼―

12月13日（土）14時より中根住区センターにおいてNPO法人はちくりうす設立10周年記念パーティーは、皆様のご協力により予定通り日程を終えることができました。心よりお礼申し上げます。当日の参加者は107名でした。

小川理事の開会の挨拶の後、目黒区障害福祉課の篠崎課長からのメッセージを読上げさせていただき、目黒障害者就労支援センター副理事長でもあり、目黒区自立支援協議会の委員でもある白鳥千恵子氏、はちくりうすが生まれるきっかけになったマジカルハウス柿のたねの長沖暁子氏より祝辞をいただきました。また、当日欠席のためメッセージをお寄せいただいていたNPO法人自立の家の小佐野彰氏、NPO法人ハートフル翔の松原辰昭氏のお祝いの言葉を紹介いたしました。その後、スライドショーによる10年の歩みを紹介し第1部を終えました。

第2部は乾杯の後、懇談。会食中に支援者、諸団体からのコメントをいただきました。そして、いよいよ、10周年記念パーティーの目玉、はちくりバンドの登場です。はちくりバンドは利用者さん5名で編成され4名のヘルパー・支援者のサポートを受けながら練習を重ねて来ました。音楽面では坂上庸介さんの率いるロックバンドスパイラル・スパイダーズの皆さんが支えてくれました。我らがスーパースター坂上さんのMCでライブがはじまりました。DJのおたこさんの紹介でメンバーが花道から登場します。一曲目はAKBの「恋するフォーチュンクッキー！」 2曲目は「人間っていいな」。そして、この10周年を記念して生まれたはちくりうすの歌「ハートのエンジンGOGOGO!」のお披露目です。この歌は、ヘルパーの高橋良明さんの歌詞にヘルパーでもある坂上庸介さんが曲をつけてくれました。障害当事者に一緒に歩いていこうよという思いを歌にした素敵な曲です。最初の演奏は「パンパン、パパパン」の手拍子で参加者も皆乗りのり！アンコールの合唱に再びはちくりバンドが登場したステージは沢山の利用者さんの歌と踊りで溢れました。一人ひとりをメンバーとして紹介する一体感のパフォーマンス。MCのライブ力に感服しました。

最後に、今回の10周年に協力してくれたヘルパーの皆さんに登壇してもらい、役員・職員が挨拶をいたしました。閉会の挨拶を副理事長の吉田よりいたしました。

今回の10周年の目的を、今まで支援してくださった方々に感謝の気持ちを伝える場にすること、楽しい時間にすることとしました。皆さん楽しい時間を過ごされたのではないかと思います。それは、忙しい時間を割いてボランティア参加で協力してくれたヘルパーの皆さんの力があってこそでした。改めて御礼を申し上げます。

はちくりうすは、10周年を迎え、思いの連携を形にしていくこと、繋がりを広げていくこと、その決意をこめて新たな出発点にたちます。今後ともどうぞよろしくお願いします。

2014年12月25日

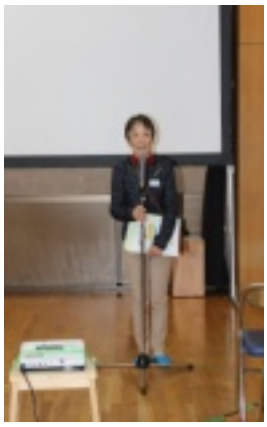
特定非営利活動法人はちくりうす

理事長　伊東　さえ子

はちくりうす10周年イベント大成功

10周年記念イベントにはたくさんの方に参加していただき、とても盛り上がることができました。お忙しい中、参加していただきまして誠にありがとうございました。

今回のイベントは２部構成にさせていただきました。第一部はフォーマルなプログラムで、はちくりうすをサポートをして下さっている行政、団体、個人の方からのスピーチや今回寄せていただいたメッセージの紹介がありました。またはちくりうすの10年ををプロジェクターを使いながらふりかえり、利用者さんやファミリーの皆さんとヘルパーさん達と共にはちくりうすがこうして成長して来たんだと実感することができました。



さて、楽しい第二部のお話を。

第二部は利用者さんの乾杯の音頭で始まりました。皆さん食事をしたり、飲んだり楽しくされていました。利用者さんが皆で集まる機会がなかなかないので、私にはこんなイベントが年に１回位あったらいいなと思えました。

みんなの笑顔がとても素敵で本当に感動的な時間でした。

今回は10周年と言うことで、はちくりうすバンドを作りメンバーは利用者さんやヘルパーさん、坂上ヨースケさんのバンド、スパイラルスパイダースです。はちくりうすの10周年をテーマにして、「ハートエンジンGO GO GO」という曲が出来ました。作詞は高橋良明さんで、作曲、パーフォーマーは坂上ヨースケさん&スパイラルスパイダースでした。本当に盛り上がる曲で、耳に残る曲です。

本当にノリノリで会場が盛り上がり、会場にいる方々も歌って踊っていました。これからもこのはちくりうすのテーマソングを皆さんで口ずさんでいきたいです。

２ヶ月前からバンドのメンバーと共に頑張って一生懸命練習をされていました。当日は完璧なライブ、とても感動的な結果になりました。

本当に素敵な１日でした。ありがとうございました。

マルクス

10周年記念ソングのCDと記念パンフは事務所にありますので ご希望の方ははちくりうすまでご連絡ください

12月ヘルパー月例会報告

12月月例会報告　自閉症の方との付き合い方～１２のポイント～

出席：17名(職員3名)
場所：鷹番住区センター

2月16日鷹番住区センターで月例会議を行いました。テーマは「自閉症の方との付き合い方～12のポイント～」を取り上げました。大きく、１．自閉症とは、２．ちょこっとだけ自閉症体験、３．自閉症の方との付き合い方～１２のポイント～に分けて話をしました。

新しく入ったヘルパーさんは支援の際にどのような声掛けや対応をしたらと戸惑いもありますし、当事者の方もヘルパーさんの声掛けによっては混乱も生じます。自閉症の方の特徴的な行動の話をして、写真を見てそこから何をみるのか、利用者ヘルパー役に分かれてことばでのコニュニケーション一切使わずにお互いに好きな食べ物を探るなど自閉症体験をし、付き合い方のポイントを学びました。

<<<　１２のポイント　>>>

①ストレス要素がなければパニックはおきず、パニックは当事者のSOSです。
②具体的でわかる言葉をはなす(こそあどことばは使わない、その方がわかる言葉をつかう)
③シンプルな言葉を選び、短い文章や写真や文字をつかう。「今日の調子はどうですか？」の質問形式の会話は混乱しやすい
④将来のことを予測して今の支援を考える
⑤どこで本人に不安があるのか行程分析をする
⑥タイムスケジュールを明確にして、その方にあったスケジュールを考える。
　例：「○○が終わったら、お昼ごはんを食べます」
⑦「～しない」「～してはだめ」「～しないことは、ありえない」(２重否定)否定語は使わない。否定語はパニックの原因の一つです。
　肯定的な声掛けをする！
　　例：赤信号は渡らないよ！→青信号になったら渡りましょう
　　例：そんなことじゃ、○○先生にしかられるよ→○○したら先生に褒められるよ
　　例：みかんとりんごとぶどうとパイナップルどれが食べたい？１個しか選んじゃだめよ。
　　→４つのものから一つ選んで下さい。
⑧「わからない」と答えない努力をする
⑨自分の感情を表にださず、自分のやり方を不安に考えない。例えば大きな声を出さない。
⑩「○○したいんですね」と相手の考えていることをまずは認めたり、最初から否定するのではなく「△△ならできますよ」と代替え案を出す
⑪当事者の方に反省させるのではなく「正しいやり方」を伝える
⑫本人がやろうという気持ちのスイッチが入る前に支援者が「□□しましょう」と声掛けをする

時折、利用者さんが変わらないということを耳にします。支援者が変わらないと利用者さんは変わりません。普段ヘルパーさんはマンツーマン支援のため、なかなか客観視することは難しい側面があるのですが、この研修を通して、少しでも支援者が自分を見つめるきっかけになればと思います。

――　以下ヘルパーさん感想　――

■写真を見て「何が写っている」か参加者が答えていく件では、当事者が情報を点で捉える傾向が浮かび挙がってきておりヘルパーとしてピンポイントな

伝え方を利用者に提示していきたいと考えさせられた。
　またその後の肯定的な声かけの例では、他の参加者の声が参考になったこと、答えは沢山あるなと知れたのがよかった。

■自閉症の方達がどのように物を見たり、感じたりするのか、とても分かりやすかったです。対応を工夫する必要があると思いました。また皆さんが、どれ程、大変な中で生活しているのかと思いました。

■否定的な言葉(行動)を肯定的な言葉(行動)に置きかえて接することの大切さに気づかせていただけたことに感謝しています。この考えかたは、ご利用様だけではなく、支援させていただいているヘルパー自身にとっても力になるメッセージだと思いますが、継続して常に取り組むということが大切なので、ずっと心に留めていようと思います。

■障害当事者の視点に立ってみる事によって、どれだけ普段言葉でのコミュニケーションに頼っているか、言葉として現れていないことにも目を向けられているか、改めて意識して支援に入りたいと思いました。

■自閉症について大まかには知っているつもりでしたが、ペアになっての自閉症体験をしてみて、何気ない場面でも自閉症の方は辛い思いをしているのが良く分かりました。言葉ひとつの声のかけ方にしても、子育て経験を生かし、工夫する心がけは多少は出来ていたつもりでしたが、まだまだだと実感しました。「ヘルパーが変わると利用者も変わる！」この言葉をしっかりと頭に焼きつけ、今後の支援に生かしていきたいと思います。勉強会の内容も、自閉症についてはネットや本などでいくらでも情報を得ることが出来ますが、「工房で偶然会ったら そっけない」など、例に実際の支援時のことを入れていただくことにより、新人でもイメージがつきやすく大変良く理解出来ました。　　三谷

1月ヘルパー月例会

■テーマ：映画『みんなの学校』をみて考える
■日　時：1月17日(土)　18：30～20：30
■場　所：五本木住区センター　第二会議室
■住　所：中央町２丁目17－２
※　あとで出欠確認をしますのでよろしくお願いします！

「すべての子どもの学習を保証する」「すべての子どもに居場所をつくる」を信念に掲げ、校内に特別支援学級を置くことなく、「みんなで学ぶ」ことを選択した、大阪市立南住吉大空小学校の取り組みを紹介したドキュメントです。

2014年ありがとうございました

　2014年もあっという間に終わろうとしています。皆様の一年はいかがだったでしょうか？はちくりうすは今年10周年を無事に迎えることができ、記念イベントも大成功でした。ただ10年間で、はちくりうすも大きく成長し制度や環境も充実してきつつあるとはいえ、まだまだはちくりうすが目指すサービスが安定して提供できているわけではありません。来年も更なる高みを目指し、はちくりうす らしい良質なサービスが提供できるようにがんばりたいと思います。来年もどうぞよろしくお願いいたします。　　職員一同